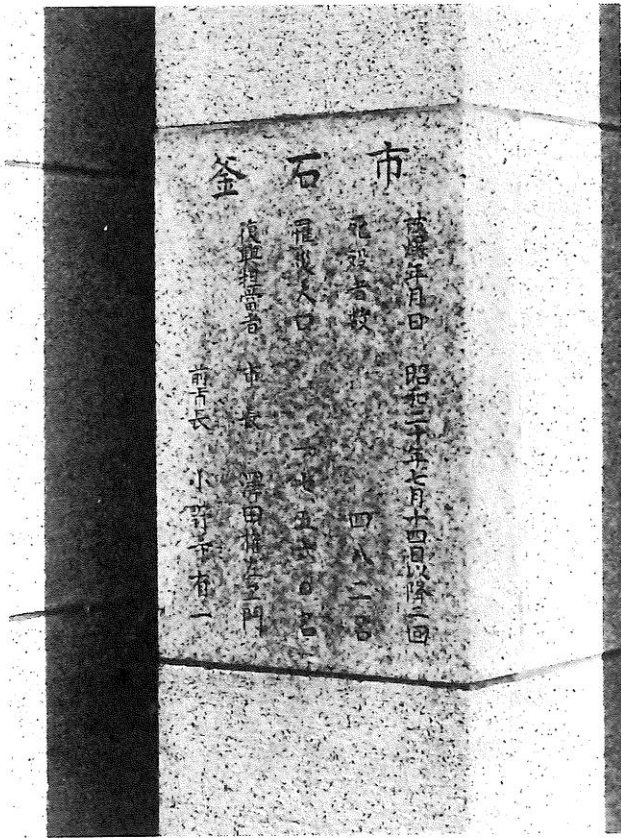


## 戦災死者名簿

本名簿の作製は、昭和二十七年七月に釜石市に於て調査した五〇五名の戦災死者名簿を基本として、釜石市役所戸籍関係の書類、市内の各寺院の過去帳、市外の大槌町、山田町の各寺院の過去帳等を調査し照合して作成したものである。二十七年に調査した死亡者数と今日調査した数と大部相違



太平洋戦全国戦災都市空爆死没者  
慰霊塔=釜石の碑（姫路市提供）

があるが、それでも二十七年に調査した数以上となった。米軍の調査したものによれば八九一名とあり、米軍では釜石での報告書の数は不明確であると断言している。

名簿の記入であるが七月十四日に罹災し重傷を負い十四日以降に亡くなった人々については、特に死亡月日を明記せず七月十四日の項に加入した。これは八月九日以降に亡くなった人についても同様である。

調査もれの犠牲者もあることと思うが、現段階においては、どうにも調査できかねたことを深くお詫びしご寛容を得たい。